

タケダ・ウェルビーイング・プログラム 2016 助成の概要と推薦理由

助成番号 16-1-4

プロジェクト名 小児がん患者の自立支援プログラム開発と普及
団体名 ソーシャルデビュープログラム研究会
代表者名 小俣 智子
所在地 東京都
助成額 95万円
助成期間 2017年3月1日～2018年2月28日
設立年 2015年
URL -

何らかの慢性疾患を抱えながら成人していく子どもの数は、年々増加傾向にある。そのような子どもたちは退院後も病気を引き受けて生きていくことが求められているが、自らを助ける患者教育はこれからの取り組みとなってきた。

この団体は、ソーシャルワーカー、医療関係者、研究者らが中心となり、病気をきっかけに生きづらさを抱える慢性疾患の子どもたちが、自らの意志で自分らしく生きていくためのプログラムの開発と普及に取り組んでいる。

今回の助成では、小児がん経験者を対象に、自らの病体験の整理や知識の獲得、今後の対処方法を考えるプログラム開発に取り組む。既にテスト実施を行ったプログラムをもとに、関東ブロックの小児がん拠点病院（3カ所）において、概ね20歳以上の小児がん経験者を対象にプレ実施を行い、さらに改良を加えていく。同時にプログラムでは、参加者がワークショップを通じて出会った当事者との仲間づくりに発展したり、社会人となった当事者が運営側にまわり、ファシリテーターとして協力することで、自信や他者を支援する力をつけていくことも期待されている。

本プログラムは、慢性疾患の子どもたちの退院後の地域生活への復帰を始めとし、その後の長い社会生活に向き合い、乗り越える力をつけるための具体的な教育プログラムとして、必要かつユニークな取り組みである。病の経験を生きる力に変えていくような教育プログラムの開発と、今後の実施事例の拡大、小児がん経験者同士が地域でピアサポートできる仲間づくりにつながることを期待して助成する。